

平成 20 年度富士見市一般会計当初予算案の概要

平成 20 年 3 月

I 総括

平成 20 年度の地方財政計画*は、地方の厳しい財政状況を勘案して 7 年ぶりに増額され、本市財政に対しても歳入面で一定の効果はあるものの、全体的には引続き厳しい財政状況にあると推測しています。

一方、少子高齢化や地方分権の進展等地方自治体を取り巻く社会環境の変化等により、自治体の担う役割は益々大きくなり、行政需要は複雑多岐にわたりながら増加しています。

平成 20 年度当初予算編成においては、厳しい財政状況を踏まえ行財政改革を推進しつつ、市民の暮らしを支える行政サービスの効果的な充実など重点施策の選択と集中を図り、できる限り市民の期待に応えられるよう効果的な予算の編成に努めたものです。

平成 20 年度市政運営の重点政策(予算編成方針)

- (1) 市民の暮らしを支える行政サービスの効果的な充実
- (2) 魅力ある生き活きとしたまちづくりの推進
- (3) 安心して利用できる公共施設へ計画的な整備を推進
- (4) 少ない予算で大きな効果を(ゼロ予算事業や市民協働の積極的活用)
- (5) 事務事業の見直しや職員数削減、入札制度改革など行財政改革の徹底

* 地方財政計画：内閣が翌年度の地方公共団体の歳入歳出総額の見込額としてまとめたもの。

平成 19 年度：83 兆 1,261 億円 → 平成 20 年度：83 兆 4,000 億円

対前年度比 0.3%の増

II 予算規模

- 1 一般会計 266 億 1,147 万 5 千円
(対前年度比 21 億 7,057 万 9 千円(8.9%)の増)
(19 年度 244 億 4,089 万 6 千円)

(参考)一般会計予算額の推移(当初予算対比)

単位：千円、%

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
予算額	25,273,020	27,799,312	25,938,009	24,373,298	24,440,896	26,611,475
増減	△ 2,091,993	2,526,292	△ 1,861,303	△ 1,564,711	67,598	2,170,579
伸び率	△ 7.6	10.0	△ 6.7	△ 6.0	0.3	8.9

◎平成 20 年度一般会計当初予算案は、平成 16 年度以来 4 年ぶりに大きな伸び率となりました。この主な要因としては、鶴瀬西小学校・上沢小学校統廃合事業(18 億 3,331 万 2 千円)と地方債の償還額の増加によるもので、当該事業費を除くとほぼ前年度並みの予算額となっています。

総額 26,611,475 - (つるせ台小 1,833,312 + 市債償還増分 313,830)
=24,464,333 千円

< 予算規模増加の要因 >

1 鶴瀬西小学校・上沢小学校統廃合事業(1,833,312 千円)

- つるせ台小学校新校舎建設関係 1,829,827 千円
- 旧上沢小学校用地測量 3,485 千円

2 地方債償還(増額要因分 313,830 千円)

- 平成 10 年度発行の地方債(借換え債)の償還 277,760 千円
- 補償金免除の政府債の繰上げ償還 92,918 千円(内実質繰上げ償還額 36,070 千円)
平成 20 年度 金利 7.10%の政府債繰上げ償還 効果額 5,230,425 円(利子の節減)
(平成 19 年度 金利 7.10%の政府債(残債 1,129 千円)繰上げ償還 効果額 102 千円)
※補償金免除の繰上げ償還のため、財政健全化計画を策定し国に提出
※下水道事業も同様に繰上げ償還を実施(借換えで対応)。
(10 億 4,688 万 7 千円(7.0~7.5%)=平成 19 年度 3 月補正で借換えを実施)

2 歳入歳出予算の状況

平成 20 年度予算案は、各部局への枠配分による歳出予算の削減や行財政改革の推進を図りつつ、なお不足する財源について財政調整基金からの繰入れにより対応しています。

(1) 主な歳入の状況(予算額の推移)

単位：千円、%

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
市 税	11,323,400	11,347,464	11,626,042	12,152,405	13,641,126	13,849,760
(増減)	△ 389,235	24,064	278,578	526,363	1,488,721	208,634
(伸び率)	△ 3.3	0.2	2.5	4.5	12.3	1.5
地方交付税	4,700,000	4,150,000	4,000,000	3,400,000	2,850,000	2,850,000
(増減)	△ 400,000	△ 550,000	△ 150,000	△ 600,000	△ 550,000	0
(伸び率)	△ 7.8	△ 11.7	△ 3.6	△ 15.0	△ 16.2	0.0
国庫支出金	2,150,782	2,227,407	2,299,556	2,002,694	2,126,538	2,700,198
(増減)	△ 73,356	76,625	72,149	△ 296,862	123,844	573,660
(伸び率)	△ 3.3	3.6	3.2	△ 12.9	6.2	27.0
県支出金	832,638	785,529	837,836	863,668	1,168,643	1,203,475
(増減)	△ 46,129	△ 47,109	52,307	25,832	304,975	34,832
(伸び率)	△ 5.2	△ 5.7	6.7	3.1	35.3	3.0
繰入金	1,330,234	1,470,665	1,193,833	890,724	505,554	898,868
(増減)	187,387	140,431	△ 276,832	△ 303,109	△ 385,170	393,314
(伸び率)	16.4	10.6	△ 18.8	△ 25.4	△ 43.2	77.8
市 債	2,044,700	4,502,000	2,326,715	1,222,700	1,082,900	2,123,400
(増減)	△ 985,300	2,457,300	△ 2,175,285	△ 1,104,015	△ 139,800	1,040,500
(伸び率)	△ 32.5	120.2	△ 48.3	△ 47.4	△ 11.4	96.1

①市 税 13,849,760 千円

対前年度比 208,634 千円(1.5%)の増

平成 19 年度は税源移譲の影響により 12.3%の増となりましたが、20 年度は対前年度比 208,634 千円(1.5%)の増となっています。主なものは、固定資産税が負担調整率による増等により 115,218 千円(2.4%)の増、法人市民税が 35,350 千円(5.7%)の増となっています。

②地方交付税 2,850,000 千円

前年度当初予算額と同額(普通交付税 27 億円、特別交付税 1 億 5 千万円)

地方交付税の総額は、いわゆる出口ベースで 15 兆 4,061 億円、対前年度比 2,034 億円(1.3%)の増となっていますが、近年、本市の交付実

績は全国平均以上の減となっていることから、平成 20 年度の地方交付税は、前年度当初予算額と同額の 2,850,000 千円(普通交付税 27 億円、特別交付税 1 億 5 千万円)を見込んでいます。

平成 19 年度地財計画普通交付税対前年度比	△4.4%
埼玉県内市町村普通交付税対前年度比	△10.9%
富士見市普通交付税対前年度比	△8.9% (2,831,878 千円)

③国庫支出金 2,700,198 千円

対前年度比 573,660 千円(27.0%)の増

主な増額要因は、つるせ台小学校新校舎建設に対する補助金 558,077 千円です。

④繰入金(財政調整基金) 898,868 千円

対前年度比 393,314 千円(77.8%)の増

財政調整基金残高の見込み

(単位：千円)

18 年度末 残高	19 年度 積立	19 年度 取崩し	19 年度末 残高見込	20 年度 積立	20 年度 取崩し	20 年度末 残高見込
1,786,285	538,191	505,554	1,818,922	266,263	898,868	1,186,317

⑤市債 2,123,400 千円

対前年度比 1,040,500 千円(96.1%)の増

○建設事業

主な増額要因は、つるせ台小学校新校舎建設に 10 億 9,450 万円、市役所本庁舎の耐震補強・バリアフリー工事に 1 億 190 万円などとなっています。

○臨時財政対策債 19 年度実績比 60,134 千円(6.3%)の減

臨時財政対策債は、総額で 2 兆 8,332 億円と対前年度比 2,032 億円(7.7%)の増となっていますが、その内訳としては、都道府県分が 21.8%の増、市町村分は 6.3%の減となっています。臨時財政対策債の実績は地方財政計画と大きな違いはないことから、19 年度実績(当初予算額 9 億円、実績 944,134 千円)に対して 6.3%減の 884,000 千円(対前年度当初予算比 16,000 千円(1.8%)の減)で計上しています。

地方債残高の推計(各年度末見込み)

(単位：百万円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計	26,877	25,428	24,668	23,398	23,065	22,953

(2) 主要施策の状況

①市民のくらしを支える行政サービスの効果的な充実

○オストメイト対応トイレの整備(障害福祉課 3,000 千円)

- ・現在 2 か所→6 か所へ

現在＝市民福祉活動センター、鶴瀬西交流センターの 2 か所

新規設置＝市役所本庁舎、サンライトホールなど計 4 か所

○「障害者地域自立支援協議会」の設置(障害福祉課 152 千円)

- ・相談支援事業の運営に関する事、障害福祉計画・障害者計画の統合策定などを協議

○障害者施設支援の充実(障害福祉課)

- ・ゆいの里通所施設運営費補助の増額(5,000 千円)

○母子家庭の自立促進へ自立支援教育訓練給付費を支給(子育て支援課 300 千円)

- ・4,000 円以上の指定教育訓練講座受講料の 20%を公費負担(上限 10 万円)

○児童虐待防止へ「要保護児童対策地域協議会」を設置(障害福祉課 70 千円)

- ・要保護児童及びその保護者に対する支援等を協議

○乳幼児医療費支給対象の拡大(子育て支援課 10,094 千円)

- ・小学校修了までの入院に係る費用の補助

○水谷東放課後児童クラブの建替え(子育て支援課 1,135 千円)

- ・リース方式にて整備

○富士見養護学校放課後児童クラブ補助金の増額(子育て支援課 2,256 千円)

- ・補助率：従来県基準額の 2/3→県基準額の全額を補助

○保育所の修繕等(子育て支援課 7,550 千円)

- ・第 2 保育所屋根塗装、第 3 保育所耐震調査、備品購入等

○妊婦検診公費負担の拡大(健康増進センター41,549 千円)

- ・公費負担 2 回→5 回へ拡大

○麻しん風しん予防接種(健康増進センター)

- ・5か年をかけて中高生対象に2回目の接種実施(13,200千円)
- ヘルスチェック(健康増進センター5,576千円)
 - ・18~39歳までの男性も含めて実施
- AED設置の拡充(健康増進センター3,523千円)
 - ・既設置27台→20台の増(主要な公共施設に配置完了)
- 税制改正に伴う介護保険料軽減措置の継続(高齢者福祉課10,141千円)
 - ・平成18~19年度の間実施されている介護保険料の激変緩和措置を平成20年度も継続
- 市内循環バスの更新(道路交通課29,482千円)
 - ・NOx・PM法に基づく市内循環バスの更新(ステップリフトバスの導入)
- 鶴瀬西小学校・上沢小学校統廃合事業(教育総務課)
 - ・つるせ台小学校購入費(1,794,302千円)
- 学校管理運営事業(教育総務課)
 - ・つるせ台小学校等維持管理運営業務委託(9,279千円)
- 地域子ども教室の拡充(生涯学習課3,412千円)
 - ・7校→9校へ
- ブックスタートの実施(図書館1,878千円)
 - ・12か月児健診を活用してブックスタートパック(絵本2冊等)を配布
- 小学校に英語指導助手の派遣(学校教育課5,000千円)
 - ・小学校5~6年生を対象に実施
- 特別支援教育事業(学校教育課18,670千円)
 - ・すこやか支援員を配置し、発達障害のある児童生徒に対する支援を実施

②魅力ある生き生きとしたまちづくりの推進

- 富士見市をきれいにする条例の推進(環境課1,949千円)
 - ・美化推進計画・美化推進重点区域、路上喫煙禁止区域の設定等を検討
- 商工業推進事業(産業振興課16,562千円)
- 農地・水・環境保全向上対策事業の実施(産業振興課660千円)
 - ・農地や農業用水路等の保全管理のために、地域が行う共同活動(草刈等)に対する支援負担金(東大久保、上南畑、下南畑地区)
- 農業振興地域見直し基礎調査の実施(産業振興課2,310千円)
- 男女共同参画推進事業(協働推進課748千円)
 - ・平成21年度に策定する第3次行動計画に向けて市民意識調査の実施(男女共同参画推進条例の制定を予定)

③安心して利用できる公共施設へ計画的な整備を推進

○市役所本庁舎耐震補強・バリアフリー化工事(総務課 115,099 千円)

○みずほ学園修繕(みずほ学園 1,082 千円)

- ・外壁木部塗装

○みずほ台歩道橋の修繕(道路交通課 35,440 千円)

- ・東上線を横断する歩道橋の塗装等

○排水ポンプの修繕(道路交通課 13,000 千円)

- ・鶴馬 3 丁目ポンプ場、凶川排水機場

○小中学校体育館耐震化(教育総務課 35,886 千円)

- ・平成 20 年度耐震診断(小学校：鶴瀬、南畑、水谷、みずほ台)

(中学校：勝瀬、西)

- ・平成 20 年度補強工事設計(小学校：関沢、勝瀬、水谷東)

(中学校：本郷、東)

※平成 22 年度には、すべての小中学校体育館耐震化を完了予定。

○小中学校の修繕(教育総務課 35,886 千円)

- ・勝瀬小学校のトイレ修繕等

○公民館施設の修繕等(各公民館 5,579 千円)

- ・鶴瀬公民館・コミセン集会室等修繕等

- ・南畑公民館階段手摺設置等

- ・水谷公民館耐震調査

- ・水谷東公民館児童室修繕

○水子貝塚資料館屋上防水工事等(資料館 7,050 千円)

④少ない予算で大きな効果を(ゼロ予算事業や市民協働の積極的活用)

○行政経営プランの作成(政策財務課 19 千円)

- ・実施計画、部局運営方針等をまとめて行政経営プランとして作成する。

○まちづくり出前講座の開催(協働推進課 330 千円)

- ・平成 20 年 4 月から 90 講座程度を予定

○地域福祉計画を市民協働で実践(福祉課 55 千円)

- ・平成 20 年度策定予定の地域福祉計画について、地域で実践活動を進めていく。

○市民協働で公園の維持管理(まちづくり推進課 580 千円)

- ・なかよし公園や第一公園、前沼公園等において市民協働で維持管理を行う。

○道路クリーン事業(道路交通課 特に予算措置なし)

- ・年 2 回程度(土日)、職員により駅周辺等の道路の安全点検、清掃、美化活動を

行う。

○お話しボランティア養成講座の開催(図書館 25 千円)

- ・お話しボランティア養成講座を 4 回開催し、ボランティアを新たに養成して素話会や読み聞かせの機会の拡充を図る。

⑤事務事業の見直しや職員数削減、入札制度改革など行財政改革の徹底

○交際費の削減 H19 年度 4,332 千円 → H20 年度 4,161 千円(△171)

(特別会計、企業会計含む H19 年度 4,652 千円 → H20 年度 4,341 千円(△311))

○定年退職職員の不補充による職員数の削減

H19 年 4 月 1 日現在 651 人 → H20 年 4 月 1 日 627 人(△24 人)

(一般会計職員給与費 5,496,409 千円(△149,185 千円 △2.64%))

○特殊勤務手当ての見直し(清掃作業手当て、開庁職場手当て)

○公用車の削減 6 台廃車し 1 台のみ購入(3 か所の出張所は公用車からタクシー利用へ)

○枠配分予算編成

平成 20 年度予算編成においては、83,472 千円の削減目標を掲げて取り組み、予算要求段階で 83,295 千円の削減を実施した。

	H17	H18	H19	H20
削減目標額	325,020	274,427	297,724	83,472
(削減率)	△ 10.0	△ 9.3	△ 7.0	△ 2.5
削減額	165,718	209,895	273,887	83,295

○指定管理者制度の導入等

針ヶ谷コミュニティセンター指定管理料

H19 年度予算推計(平均給与による人件費含む) 24,948 千円

H20 年度予算 19,814 千円(△5,134 千円)

老人福祉センター指定管理料

H19 年度予算推計(平均給与による人件費含む) 100,145 千円

H20 年度予算 36,000 千円(△64,145 千円)

ケアセンター指定管理料の減

25,168 千円(△皆減)